

## 富里市男女共同参画計画第2次改訂版 進捗状況調査票(令和3年度分)

## 基本方針(1)男女の人権が尊重される社会をつくる

達成度 A:十分に達成できた(90%以上) B:概ね達成できた(70%以上) C:一定の達成があった(50%以上) D:不十分であった(50%未満) E:その他(未実施、終了または廃止等)

No.	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	実績値	計画の進捗状況 (施策事業の実施状況、改善点等)	事業費 (単位:円)	達成度	所管課
1	人権尊重についての広報・啓発	人権擁護委員活動事業において、人権啓発パンフレット等によりお互いの人権を尊重し、差別意識の解消やあらゆる暴力を根絶するため、広報・啓発を実施します。	広報活動	年3回以上	2回	市広報紙(5月号・12月号)で人権相談についてお知らせしました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、福祉まつりが中止となり、人権擁護委員による啓発活動は実施しませんでした。	-	B	市民課
			啓発活動	年1回以上	0回				
2	人権侵害に対する相談等の充実	法務局や他の機関等との連携を図るとともに、人権擁護委員による人権相談の充実を図ります。	人権相談の実施	年13回以上	11回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人権・行政・心配ごと相談等は回数を減らして実施し、人権に関する相談は4件ありました。	-	B	市民課
3	性的指向やLGBT(性的少数者)への理解促進	多様な性のあり方について理解を広め、LGBT(性的少数者)に関する正しい情報の提供を行うとともに、理解促進のための啓発を実施します。	広報・啓発活動	年1回以上	年2回	国・県等が発行する情報誌を窓口に設置し、情報提供を行いました。	-	A	経営戦略課
4	DVやセクハラ防止に関する啓発	DVやセクハラに関する正しい理解の促進と防止に向けた啓発を実施します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	女性に対する暴力をなくす運動に合わせ、DV等に関するチラシの配布を、区長回覧で行いました。	-	A	子育て支援課
5	デートDVの防止に関する啓発	デートDVに関する正しい理解の促進と防止に向けた啓発を実施します。			1回	女性に対する暴力をなくす運動に合わせ、DV等に関するチラシの配布を、区長回覧で行いました。		A	子育て支援課
6	デートDVの防止に関する教職員及び保護者への啓発	デートDVに関する正しい理解の促進と防止に向けて、教職員及び保護者への啓発を実施します。			年1回	市教育委員会主催の生徒指導研修会においてデートDVについての理解を深めました。		A	学校教育課
7	女性への暴力等の防止に向けた啓発活動の推進	毎年11月の「女性に対する暴力をなくす運動」に併せ、ポスターの掲示やチラシの配布を行い、女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けた市民意識の高揚を図ります。			1回	女性に対する暴力をなくす運動に合わせ、DV等に関するチラシの配布を、区長回覧で行いました。		A	子育て支援課
8	地域の安全に向けた防犯対策への取組み強化	犯罪防止のための地域防犯パトロールを関係団体と連携・協力して実施します。また、市有防犯灯の設置や地区で設置する防犯灯の設置及び維持管理に係る経費を補助します。	青色回転灯車両による防犯パトロールの実施	週5回以上	週5回以上	富里市防犯指導員連合会各支部及び自主防犯パトロール隊による防犯パトロールを週5回以上実施しました。また、夜間における市民の安全な通行と犯罪抑止を目的とし、防犯灯を設置するとともに、区・自治会等が設置した防犯灯に対して補助を行いました。	9,522,174	A	市民活動推進課
9	DV相談窓口に関する情報提供	24時間電話相談などの相談窓口の情報提供を行います。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	千葉県で行っている24時間電話相談窓口についてホームページに掲載しました。	-	A	子育て支援課
10	DV及び児童虐待に関する相談体制の強化・充実	庁内関係各課及び関係機関と連携を図り、相談体制の強化・充実を図ります。	職員の研修受講回数	年8回以上	4回	DV相談を関係各課と関係機関と連携して行いました。千葉県主催のDV担当職員研修に参加し、相談担当職員のスキルアップを図りました。	-	C	子育て支援課
			庁内連携会議への出席	年7回	年7回	要保護児童対策地域協議会事務者会議において情報交換を行い、事案が発生した際には、関係機関と連携して協力し、解決を図りました。	-	A	学校教育課
			研修等の情報提供	年1回以上	年2回	相談業務の技術力向上を支援するため、相談業務担当課へDV相談等に関する研修の案内などを行いました。	-	A	経営戦略課
11	緊急保護等を求めるDV被害者の支援	関係機関と連携し、被害者及び児童や家族などに適切な支援を行うとともに、状況に応じて緊急避難の支援を実施します。	-	-	-	相談者の被害の状況、児童がいる場合には児童への影響、避難の意志を確認しながら、安全の確保を最優先に、適切な支援を行いました。	-	A	子育て支援課
			生徒指導会議への出席	週1回	週1回	生徒指導担当指導主事が、生徒指導会議へ出席し、情報交換及び学校への指導を行いました。	-	A	学校教育課
12	住民基本台帳事務における支援措置	DV・ストーカー・児童虐待等の加害者が住民基本台帳の閲覧等制度を不当に利用して被害者が緊急避難した先の住所を検索することを防止し、被害者の保護を図ります。	-	-	-	住民基本台帳事務における支援措置申出を受け、145件(本市受付55件)支援措置を行いました。	-	A	市民課
13	DV被害者の自立支援の充実	行政機関の各種手続きに関する情報の提供や援助をします。	職員の研修受講回数	年8回以上	年4回	DV被害者の実情に応じて、必要な支援や手続きに関する情報提供を行い、関係機関と連携を図りながら支援を行いました。	-	C	子育て支援課
			該当の児童生徒の見守り・学校への指導助言	1件につき3回以上	1件につき3回以上	DV被害が発生した際には、関係機関と連携して協力し、また必要な指導助言を行い解決を図りました。	-	A	学校教育課

## 富里市男女共同参画計画第2次改訂版 進捗状況調査票(令和3年度分)

## 基本方針(1)男女の人権が尊重される社会をつくる

達成度 A:十分に達成できた(90%以上) B:概ね達成できた(70%以上) C:一定の達成があった(50%以上) D:不十分であった(50%未満) E:その他(未実施、終了または廃止等)

No.	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	実績値	計画の進捗状況 (施策事業の実施状況、改善点等)	事業費 (単位:円)	達成度	所管課
14	DV被害者に接する関係職員の研修機会の提供	DV被害者に接する関係職員に対して、被害者の人権等に十分配慮がなされるよう、研修機会の提供を行います。	関係職員の研修への参加	年1回以上	0回	関係課へ研修情報の共有を図りました。	—	C	総務課
					1回	DV被害者のプライバシーや安全に配慮しながら連携が図れるように、関係課に研修の周知を行いました。	—	A	子育て支援課
					年1回以上	様々な機関で行われる人権に関する研修会の紹介をし、関係職員の参加を促しました。また、各校で人権に関する研修の充実を図りました。	—	A	学校教育課
					年1回	戸籍・住民基本台帳事務協議会において、問題点を取り上げ、職員間で情報共有しました。	—	A	市民課
15	早期発見に向けた機関の連携	母子保健をはじめとする各種保健事業、要介護認定及び障害程度区分認定調査において、DV被害者等を早期に発見し、相談機関につなげていきます。	—	—	—	母子保健事業を通じた育児支援の中で、関係機関と連携を図り、早期発見に努めました。	—	A	健康推進課
			高齢者見守り協力事業者数	55以上	70	高齢者世帯における認知症やDV・虐待等の早期発見に努めました。	—	A	高齢者福祉課
16	有害な違反看板などの広告物の排除の強化	違反看板などの広告物を警察と連携して定期的に除去することにより、地域環境の改善を推進し、性的犯罪を含めた防犯面での安全性の向上を図ります。	違反看板の除去作業	週2回以上	四半期に1回	通常業務の傍ら、国道及び市道の道路用地内について違反看板パトロールを実施しました。確認できた違反看板を撤去しました。	—	A	都市計画課
17	有害情報から青少年を守るための啓発	携帯電話をはじめとしたインターネットの有害情報のフィルタリングの実効性を高めるため、保護者への啓発の充実を図るとともに、販売店に啓発チラシ配布の協力を求めます。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	年1回	文部科学省が発行する情報モラル教育啓発リーフレットを配布し、情報の取捨選択やスマホの安全利用について啓発を図りました。また、内閣府が発行する、低年齢層の子どもの保護者向けパンフレットを各学校に配布し、保護者への普及啓発を図りました。	—	A	学校教育課
					3回	家庭教育学級開校式で、子ども向け携帯トラブル防止のチラシ配布や出前講座の紹介を行いました。また、市民活動フェスタ時に消費生活センター展示コーナーを設置し、作成したチラシやその他啓発物を配架し、啓発しました。	—	B	商工観光課
18	メディア・リテラシーの学習機会の充実	携帯電話をはじめとしたインターネットの情報メディアを主体的に読み解いて必要な情報を引き出し、その真偽を見抜き、活用する能力(メディア・リテラシー)の向上を図るため、子どものうちからそうした能力を身に付けるための取組の充実を図ります。	学習会等の開催	年1回以上	年1回	各学校において、児童・生徒の発達段階に応じてインターネットから収集した情報を活用した学習を展開しました。今後もこのような学習の時間を中心に、適切に取捨選択ができるよう指導します。	—	A	学校教育課
					2回(オンライン)	学校教育課と連携し、消費者教育の一環として、小学校6年生の児童と保護者を対象に情報モラル教室を開催しました。(新型コロナウイルス感染症対策によりオンラインで行いました。)	—	B	商工観光課
19	性の商品化防止のための啓発活動の推進	性を人権尊重の視点で捉えることができるよう啓発を実施します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	年1回	性の商品化防止に関する啓発として、関係各課への情報提供やパンフレット等を配架しました。	—	A	経営戦略課
20	性感染症等についての正しい知識、情報の提供	性を人権尊重の視点で捉えることができるよう、エイズ、子宮頸がんなどの性感染症予防教育を実施し、性に関する正しい理解の促進に努めます。	学校教育での指導	全小・中学校で年1回以上	全小中学校で年1回以上	印旛郡市の助産師や市の保健師の協力を得て、学年ごとに段階的な性教育の実践に努めており、中学校では学校独自で講師を依頼しています。現状では、ステップファミリーやひとり親家庭が多く、今後も各学校において実践していくことが望ましいと考えています。	—	A	学校教育課
			チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	成人式で、STOPエイズのティッシュを配布しました。	—	C	健康推進課
21	売買春、人身取引等の発生を防ぐための性教育の実施	性を人権尊重の視点で捉えることができるよう、発達の段階に応じた適切な性教育の充実を図ります。	学校教育での指導	全中学校で年1回以上	全中学校で年1回以上	各学校での性教育の中で、LGBT等、様々な性の形を認容し、性差・男女の特性を踏まえた上での対等な人間関係ができるよう発達段階に応じた取組を行いました。また、生命を尊重し、自らを大切にできるように指導しています。	—	A	学校教育課

## 富里市男女共同参画計画第2次改訂版 進捗状況調査票(令和3年度分)

## 基本方針(2)一人一人の個性を認め合う社会をつくる

達成度 A:十分に達成できた(90%以上) B:概ね達成できた(70%以上) C:一定の達成があった(50%以上) D:不十分であった(50%未満) E:その他(未実施、終了または廃止等)

No.	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	実績値	計画の進捗状況 (施策事業の実施状況、改善点等)	事業費 (単位:円)	達成度	所管課
22	男女平等意識の啓発	男性にとっても生きやすい社会形成のため、「男は仕事、女は家庭」に象徴される固定的な性別役割分担意識や慣行が解消されるよう、市広報紙や情報誌などにより、男女共同参画の意義についての理解の促進を図る啓発を実施します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	年2回	市広報紙で男女共同参画週間について周知をしました。また、男女共同参画に関する意識調査を実施した際に、「男女共同参画とは？」というチラシを作成し、啓発に努めました。	—	A	経営戦略課
23	男女共同参画社会づくりに関する情報の提供	市広報紙や情報誌等により、男女共同参画社会づくりを推進するための情報提供を実施します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	年12回	市広報紙での男女共同参画週間などの周知のほか、パンフレットの設置や配布を行いました。	—	A	経営戦略課
24	男女共同参画に関わる関連資料、図書等の充実	男女共同参画に関わる関連資料を情報コーナー等で配布します。また、図書館において、ジェンダー意識にとらわれない視点も考慮しながら、図書等の充実を図ります。	取組等の情報発信	年1回以上	年12回	国・県等が発行する情報誌を窓口に設置し、情報提供を行いました。	—	A	経営戦略課
			男女共同参画関連書籍の蔵書数	1,500冊以上	関係資料の蔵書数 1,486冊	図書館蔵書の男女共同参画に関する資料のうち、家庭問題関連書籍を39冊の受け入れを行いました。全体では、1,486冊となり、最新の情報や話題性のあるものを考慮し資料整備に努めました。	—	A	図書館
25	男女別の統計資料の充実	男女共同参画社会づくりを推進するため、男女別の統計資料の充実を図ります。	—	—	—	市統計書内の20項目について、男女別に統計データを掲載しました。	7,999	A	広報情報課
26	男女共同参画の視点による表現の推進	富里市男女共同参画表現ガイドラインの周知を実施し、市の刊行物などにおいて、男女共同参画の視点による表現に努めます。	表現ガイドラインの周知	年1回以上	年1回	表現ガイドラインについて、庁内ポータルに掲載し全庁に周知を行いました。	—	A	経営戦略課
27	男女共同参画の視点による広報活動	広報紙やホームページの作成に際しては、男女共同参画の視点に配慮し、より内容の充実を図ります。	—	—	—	広報紙やホームページの作成において、掲載する文章や写真・イラストに、不必要な性別の強調や固定的なイメージ等、偏った表現にならないよう配慮しました。	7,681,789	A	広報情報課
			表現ガイドラインの周知	年1回以上	年1回	表現ガイドラインについて、庁内ポータルに掲載し全庁に周知を行いました。	—	A	経営戦略課
28	市職員の男女共同参画に関する意識の醸成	研修会や講演会等への参加を促し、市職員の男女共同参画に関する意識の醸成を図ります。	職員研修の実施	年1回以上	0回	関係課と調整し、職員向けの意識調査を行った。	—	C	総務課
			研修の協力または情報提供	年1回以上	年6回	関係各課に研修会や講演会等の情報提供を行いました。	—	A	経営戦略課
29	男女共同参画に関連する講座、セミナー等の開催	男女共同参画社会づくりを推進するため、さまざまな視点からの男女共同参画に関する講座やセミナー等を開催します。	講座やセミナー等の開催	年1回以上	年1回	講座やセミナー等の開催は出来ませんでしたが、男女共同参画に関する意識調査を実施した際に、「男女共同参画とは？」というチラシを作成しました。	—	A	経営戦略課
30	国・県等が主催する講演会、研修会等の情報提供	情報コーナー等を活用して市民に情報提供します。	チラシ・ポスター等による情報提供	年1回以上	年12回	国・県等が発行する情報誌を窓口に設置し、情報提供を行いました。	—	A	経営戦略課
31	講座を開催する際の一時保育サービスの実施と利用の促進	子育て世代の保護者が講座等に参加しやすくするため、ボランティアセンター等の協力を得た保育サービスの提供の推進について関係各課へ周知を図ります。また、保育所での一時保育制度の周知を行います。	保育サービス利用促進のための情報提供	年1回以上	年1回	保育サービスが提供されている国・県等が主催する講座等について、関係課へ情報提供を行いました。	—	A	経営戦略課
					年1回	市内認可保育所での一時保育制度をホームページと子育て応援ブックで周知しました。	—	A	子育て支援課
32	家庭において男女平等教育を進めるための啓発活動の推進	ジェンダーにとらわれず、男女が共に参画して社会づくりを進める意識を広く浸透させるための情報や学習機会の提供を行います。また、男性の子育てや家庭教育への参画を促進します。	講演会等の実施	年1回以上	年1回	講演会等は実施できませんでしたが、男女共同参画に関する意識調査を実施した際に、「男女共同参画とは？」というチラシを作成しました。	—	A	経営戦略課
			男女共同参画に関する家庭教育学級の開催	年1回以上	2回	家庭教育学級開設会議と家庭教育学級便りにて、男性の子育て参画と子育て関連情報を周知しました。今後も啓発に努めます。	227,564	A	生涯学習課
33	人権教育、性教育の充実	学校教育において、人権や性教育の充実を図ります。	学校教育での指導	全小・中学校で 年1回以上	全小中学校で 年1回以上	印旛郡市の助産師や市の保健師の協力を得て、学年ごとに段階的な性教育の実践に努めており、中学校では学校独自で講師を依頼しています。現状では、ステップファミリーやひとり親家庭が多く、今後も各学校において実践していくことが望ましいと考えています。	—	A	学校教育課

## 富里市男女共同参画計画第2次改訂版 進捗状況調査票(令和3年度分)

## 基本方針(2)一人一人の個性を認め合う社会をつくる

達成度 A:十分に達成できた(90%以上) B:概ね達成できた(70%以上) C:一定の達成があった(50%以上) D:不十分であった(50%未満) E:その他(未実施、終了または廃止等)

No.	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	実績値	計画の進捗状況 (施策事業の実施状況、改善点等)	事業費 (単位:円)	達成度	所管課
34	就学前における男女平等意識の向上	男女平等の視点に配慮した保育や教育を通して、男女平等意識を高めます。	—	—	—	男女という性を強調せず、個人を大切にした保育を行っています。	—	A	子育て支援課
						男女という性を強調せず、一人一人を大切にした保育や教育の推進を図りました。	—	A	学校教育課
35	学校教育における男女平等教育の推進	男女共同参画意識の形成やジェンダーにとらわれない自立した男女を育成するため、広く男女平等の視点に立った教育を推進します。	—	—	—	グループ編成等を男女混合にし、道徳や学級活動、総合的な学習の時間などを通して、男女の分け隔てなく協力して活動するよう意識化を図りました。	—	A	学校教育課
36	性別にとらわれないキャリア教育の推進	職業体験学習等の体験的な活動における指導を通して、ジェンダーにとらわれない職業観や労働観の育成や仕事と生活の調和の重要性を養うキャリア教育を推進します。	職業体験学習等の実施	全小・中学校で 年1回以上	全小中学校で 年1回以上	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業所での職場体験学習は実施できませんでしたが、各校においてオンラインによる職場体験や講師を招いての講話、調べ学習等に取り組むことで、望ましい職業観・勤労観の育成を図りました。	—	A	学校教育課
37	男女混合名簿の使用への対応	市内の公立小・中学校における男女混合名簿の使用対応を図っていきます。	—	—	—	学校により名簿の形式は異なりますが、男女混合名簿を活用しました。	—	A	学校教育課
38	教育関係者の男女共同参画に関する理解の推進	子どもたちの意識形成や行動に大きな影響を与える教職員に対し、男女共同参画に関する理解を深めるための研修機会の充実を図ります。	研修会等の実施	年1回以上	年1回以上	子どもたちの教育に直接関わる教職員に対し、様々な研修において、人権の内容に含めて男女共同参画について触れました。今後も研修の充実を図り、男女共同参画に関する理解を深めます。	—	A	学校教育課

## 富里市男女共同参画計画第2次改訂版 進捗状況調査票(令和3年度分)

## 基本方針(3)あらゆる場面で共同参画できる社会をつくる

達成度 A:十分に達成できた(90%以上) B:概ね達成できた(70%以上) C:一定の達成があった(50%以上) D:不十分であった(50%未満) E:その他(未実施、終了または廃止等)

No.	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	実績値	計画の進捗状況 (施策事業の実施状況、改善点等)	事業費 (単位:円)	達成度	所管課	
39	審議会、委員会等への女性の参画の推進	女性の意見を政策・方針決定の場に反映させるため、関係各課へ周知を図り、審議会等への女性の参画を推進します。また、子育て世代の親が審議会等に参画しやすくするため、ボランティアセンター等の協力を得た一時保育サービスの提供の推進について関係各課へ周知を図ります。	審議会等の女性委員登用率	30%	28.59%	審議会の委員数 696名 うち女性委員数199名	—	A	経営戦略課	
40	審議会等への公募委員の登用	「審議会等の公募に関する規則」や「審議会等の設置及び運営等に関する指針」の適正な運用により、幅広い年齢層から市民参加を得られるように公募による委員の選任を推進します。	公募委員を登用した審議会等の数	19	18	審議会等の数61団体 うち公募委員が含まれる審議会等の数18	—		経営戦略課	
41	広聴活動の充実	あらゆる場面で共同参画しやすい社会をつくるため、市民の意見等を聴く機会の充実を図ります。	ふれあいミーティングの参加者数	年間50人		「市長への手紙」、「市政への意見箱」は、年間88件の意見をいただきました。なお、令和2年2月から「まちづくりふれあいミーティング」に代わるものとして「まちかど市長室」を実施していますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、1回の実施となりました。	—	C	総務課	
42	選挙啓発活動の推進	投票率向上を図るため、選挙啓発活動を推進します。特に、若年層を対象とした啓発活動を行うことにより、政治への関心を高めるとともに投票意識の向上に努めます。	政治的関心の向上に資するための取組	年1回以上	2回	市内小・中学校の児童・生徒を対象とした選挙啓発作品の募集、新成人に若年層の有権者向け選挙啓発冊子の配布を実施しました。また、富里高校において、生徒会役員選挙前に全校生徒を対象とした選挙講座を実施しました。	189,000	A	選挙管理委員会	
43	女性の視点を取り入れた施設改善の推進	ユニバーサルデザインの理念に基づき、妊婦、子ども連れ、子ども、障害者、高齢者、外国人が生活しやすい、女性の視点を取り入れた施設の改善に努めます。	—	—	—	ユニバーサルデザインに配慮しバリアフリー化改修した設備等の維持管理を行いました。引き続き改善に努めます。	—	A	財政課	
						—	各園の通路は、通しやすい空間を大切に、季節感が味わえるようにしています。富里幼稚園は老朽化が進んでいることから、施設改修に合わせ、ユニバーサルデザインに配慮した改善に努めます。	—	A	子育て支援課
						福祉センター指導室の床暖房化実施	福祉センター指導室の床暖房工事を実施しました。	富里市福祉センター空調機器等整備工事(Ⅱ期工事) 31,460,000円の内の一部	A	社会福祉課
						—	北部コミュニティセンターは、トイレの手すり、ベビーベッド及び授乳スペースを設置しています。中部ふれあいセンターは、トイレに手すりを設置しています。授乳スペース等は設けていませんが、相談に応じて支援する体制を整えています。とみさと市民活動サポートセンターは、キッズスペースや多目的トイレを設置しています。	サポ)1,389,351 コミセン)5,744,738	A	市民活動推進課
						—	開発事前協議時に、歩道の整備について指導しました。また、通学路及び未就学児が移動する道路にカラー舗装等安全施設の設置を行いました。	3,300,000	A	建設課
						—	開発に伴い設置される新規公園については、開発業者に対しバリアフリー化するよう指導しました。未整備公園については、今後計画的に整備していくことを検討します。	—	B	都市計画課
						—	快適な教育環境の確保のため、市内小・中学校のトイレ洋式化改修工事を実施しました。 小学校7校 76基 中学校3校 44基	49,984,000	A	教育総務課
						—	1983年に竣工した中央公民館は、経年劣化による改善や改修が必要です。大規模な改修は行っていませんが、毎年、軽微な修繕を行い、施設の延命化を図る努力をしています。	1,804,000	D	生涯学習課
						—	開館当初よりユニバーサルデザインに配慮した設計の施設となっており、引き続き改善箇所を注視していきます。	—	A	図書館

## 富里市男女共同参画計画第2次改訂版 進捗状況調査票(令和3年度分)

## 基本方針(3)あらゆる場面で共同参画できる社会をつくる

達成度 A:十分に達成できた(90%以上) B:概ね達成できた(70%以上) C:一定の達成があった(50%以上) D:不十分であった(50%未満) E:その他(未実施、終了または廃止等)

No.	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	実績値	計画の進捗状況 (施策事業の実施状況、改善点等)	事業費 (単位:円)	達成度	所管課
44	各種団体等における女性リーダーの拡充の働きかけ	関係各課を通じて、自治会や各種団体等における女性リーダーの拡充を働きかけます。	講演会等の情報提供	年1回以上	年2回	女性活躍に関する講演会等の情報について、関係課への情報提供やパンフレットの配布をしました。	—	A	経営戦略課
45	企業運営等における女性の参画促進のための働きかけ	企業運営等における女性の参画を促進するため、国や県等の制度やセミナー等の情報提供を通じて働きかけます。	チラシ等による情報提供の実施	年1回以上	1回	「ジョブカフェちば」主催のイベントやセミナーについて、窓口に配架し、情報提供を行いました。	—	A	商工観光課
46	市職員の研修機会の充実	政策立案や各種施策等の能力を養成するため、各種研修への女性職員の参加を推進します。	各種政策立案等研修への女性職員の参加	年5人以上	16名	女性職員の研修参加を推進し、市町村アカデミー、千葉県自治研修センター等の研修に、16名の女性職員が参加しました。	744,000	A	総務課
47	市管理職への女性登用の推進	性別にかかわらず、適切な人事管理を行う中で、女性管理職の登用を推進します。	女性管理職の割合	20%	4.20%	女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画において女性管理職の割合20%を目標としていましたが、未達成となりました。計画の見直しにおいて、女性職員のキャリア形成における研修機会等の拡大や意欲のある女性職員の後押しをする取組を実施します。	—	D	総務課
48	市民活動サポートセンター機能の充実	性別や世代を問わず、地域活動に参加できるよう、協働によるまちづくりの拠点である市民活動サポートセンターの機能の充実を図り、市民活動団体が行う活動の啓発と支援を通じて、男女共同参画意識の向上に努めます。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	年4回	市民活動サポートセンターの広報紙「とみさぼNews Letter」に市民活動団体の記事を掲載し、市民活動の啓発と支援を行いました。	79,420	A	市民活動推進課
49	地域活動における男女共同参画の促進	地域づくりを担う人材を育成するため、協働のまちづくりを推進し、老若男女を問わず地域活動に参画できるような環境整備に努めます。	講座等の開催	年1回以上	年19回	市民活動に関心を持ってもらうイベントや、地域活動の担い手を発掘・育成するための各種講座を開催しました。今後も誰もが生き生きと地域で市民活動に参加できるきっかけとなる機会を提供していきます。 【令和3年度実績:とみさと協働塾4回、まちづくりサポーター養成講座・交流会、小学生ボランティア体験、市民活動団体のためのパソコン・スマホ活用相談会、市民活動団体ミニセミナー】	179,500	A	市民活動推進課
50	防災分野における男女共同参画の推進	女性や要配慮者へ配慮した取組が進むよう、防災会議への女性委員の登用を促進し、地域防災力の向上に努めます。	防災会議への女性委員の登用	3人以上	6人	防災会議で計画等の修正をする際に、女性委員から御意見をいただきました。今後も、多角的な視点で取り組んでいきます。	105,000	A	防災課
51	地域における防災訓練及び自主防災組織活動の支援	自主防災組織など地域における防災活動を支援するとともに、自主防災組織への女性参画を促進します。	自主防災組織活動への支援	年1団体以上	6団体	6団体の自主防災組織に女性が参加しています。地域で活動し、様々なご意見をいただいています。	550,000	A	防災課

富里市男女共同参画計画第2次改訂版 進捗状況調査票(令和3年度分)

基本方針(4)だれもが働きやすい社会をつくる

達成度 A:十分に達成できた(90%以上) B:概ね達成できた(70%以上) C:一定の達成があった(50%以上) D:不十分であった(50%未満) E:その他(未実施、終了または廃止等)

No.	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	実績値	計画の進捗状況 (施策事業の実施状況、改善点等)	事業費 (単位:円)	達成度	所管課
52	労働基準法の周知・徹底	法制度のパンフレット等により周知を図ります。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	法制度のパンフレット等を市役所等公共施設に配架し、周知を図りました。	—	A	商工観光課
53	男女雇用機会均等法の周知・徹底	法制度のパンフレット等により周知を図ります。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	法制度のパンフレット等を市役所等公共施設に配架し、周知を図りました。引き続き、周知方法について検討します。	—	A	商工観光課
54	職業技術等を取得するための講座等の情報提供	各種講習会や講座等の情報提供を実施します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	各種講習会や講座等のパンフレットを市役所等公共施設に配架し、情報提供を行いました。	—	A	商工観光課
55	起業家を支援するための融資制度等の情報提供	各種融資制度等の情報提供を実施します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	市融資制度について広報紙・ホームページで周知を図り、併せて市役所等公共施設・関係金融機関・商工会に案内資料を配布し、情報提供を行いました。また、県融資制度・県信用保証協会制度の案内を、前述の場所に配架し、情報提供を行いました。	—	A	商工観光課
56	女性の就労への理解に向けた啓発活動の推進	育児休暇や介護休暇後の職場復帰の際の正しい理解について、法制度等の啓発と併せて企業へ働きかけます。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	法制度のパンフレット等を市役所等公共施設に配架し、周知を図りました。今後、企業の働きかけの方策や周知方法について検討します。	—	A	商工観光課
57	再就職支援の情報提供	再就職支援に関する情報を提供します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	再就職支援セミナーのチラシやポスターを市役所等公共施設に掲示し、情報提供を行いました。また、中高年及び子育て中の母親を対象にした再就職支援セミナーを開催しました。	—	A	商工観光課
58	障害者の生活・就労に関する支援	関係する行政機関や民間機関と連携を図り、障害者が自立し充実した生活を営めるよう、生活・就労の相談体制や情報提供の充実を図ります。	地域自立支援協議会の開催	年3回以上	(就労支援研究部会の開催) 年3回	市内障害福祉事業所と行政の情報交換、障害者の新たな就労分野等の研究・協議を行いました。	—	A	社会福祉課
59	困難な状況におかれた若年層の就業支援	関係する行政機関や民間機関と連携を図り、フリーターやニートの就業支援プログラムの情報を提供します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	国・県の長時間労働や過重労働等に関する労働相談の案内チラシを、市役所等公共施設に配架し周知を図りました。	—	A	商工観光課
60	労働者の健康確保の促進	長時間労働や妊娠・出産後の女性労働者の母性保護を含めた、労働安全衛生法の啓発に努めます。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	啓発チラシ等を市役所等公共施設に配架し、周知を図りました。今後は、関係機関等との連携について検討していきます。	—	A	商工観光課
61	セクハラ・パワハラ等防止のための啓発活動の推進	チラシやパンフレット等により啓発活動を実施します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	職場における慣行を見直す啓発チラシを市役所等公共施設に配架し、周知を図りました。引き続き、周知方法について検討します。	—	A	商工観光課
62	職場における慣行を見直すための啓発活動の推進	女性の力を活かしていくためのポジティブ・アクションに関する情報提供など、職場の慣行を見直すための啓発活動を推進します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	労働環境改善のための啓発チラシを市役所等公共施設に配架し、周知を図りました。今後は、関係機関等との連携した周知方法について検討します。	—	A	商工観光課
63	農業、商工業に従事する女性の労働環境改善のための啓発活動の推進	商工会や農業協同組合などの関係機関と連携して、農業、商工業に従事する女性の労働環境改善のための啓発活動を推進します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	職場における慣行を見直す啓発チラシを市役所等公共施設に配架し、周知を図りました。引き続き、周知方法について検討します。	—	A	商工観光課
64	家族経営協定の推進	農業経営に女性や若者も参加し、家族構成員一人一人が経営を築いている考え方を確立するとともに、農業就業人口の過半数を占める女性の農業労働・家事労働を適正に評価し、女性農業者の地位の向上を図ります。	家族経営協定新規締結数	年1家族以上	0家族	県等関係機関発行のパンフレットを農政課窓口で配布しました。	—	B	農政課
65	法人化など農業経営に関する情報提供	関係機関が実施する講演会等の案内や各種パンフレットにより情報提供を実施します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	年2回	県等関係機関発行のパンフレットを農政課窓口配架し、情報提供を行いました。	—	A	農政課
66	ワーク・ライフ・バランス意識の普及・啓発の推進	関係機関と連携して、ワーク・ライフ・バランス意識の普及・啓発活動を実施し、企業等における育児休業や介護休業取得を促進します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	厚生労働省の「働き方・休み方改善ポータルサイト」紹介のチラシの配架を行いました。	—	A	商工観光課
					年2回	パンフレット等を窓口などに配置し、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発を行いました。	—	A	経営戦略課



## 富里市男女共同参画計画第2次改訂版 進捗状況調査票(令和3年度分)

## 基本方針(4)だれもが働きやすい社会をつくる

達成度 A:十分に達成できた(90%以上) B:概ね達成できた(70%以上) C:一定の達成があった(50%以上) D:不十分であった(50%未満) E:その他(未実施、終了または廃止等)

No.	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	実績値	計画の進捗状況 (施策事業の実施状況、改善点等)	事業費 (単位:円)	達成度	所管課
67	育児・介護休業法の周知・徹底	法制度のパンフレット等により周知を図ります。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	1回	厚生労働省の「働き方・休み方改善ポータルサイト」紹介のチラシの配架を行いました。	—	A	商工観光課
68	男女とも参加できる家事・育児・介護講座等の開催	ジェンダーにとらわれず、男女が共に助け合い、男性も家事・育児・介護などの家庭責任を果たすことができるよう、男性の料理教室等の講座を開催します。また、プレパパ・ママ教室、学校行事、家庭教育学級などの親子のふれあい事業では、男性が参加しやすい設定や周知に努め、男性の育児や子育てへの参画を促進します。	両親学級の実施	年3回以上	平日コース:4回 休日コース:4回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、広い会場で人数制限を設け、換気や消毒等の感染症対策を講じた上で実施しました。	89,772	A	健康推進課
			介護予防出前講座の実施	年10回以上	年1回	男女を問わず、地域住民の介護予防に対する意識を高めるため、地域からの要請に基づき介護予防出前講座を行いました。(開催回数1回、参加者39人)	12,000	D	高齢者福祉課
			育児講座開催数	年10回以上	3回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、育児講座については毎月の開催が困難でしたが、個別相談等で利用者の育児不安の解消に努めました。	27,825,808	D	子育て支援課
			—	—	—	各学校で親子で参加する行事において、男性、女性のどちらでも参加しやすいように配慮して行いました。	—	A	学校教育課
			家庭教育学級へ男性参加の啓発	年3回以上	3回	講演会と会議で男性の子育て参画を呼び掛け、講演会での男性参加者割合は大きい。男性参加を促せる学習会プログラムを工夫していきます。	227,564	A	生涯学習課
69	市職員への育児・介護休業制度の周知、ワーク・ライフ・バランス意識の普及・啓発の推進	男性職員の育児や介護を促進するため、育児休業や介護休業取得の促進と、ワーク・ライフ・バランス意識の普及・啓発を推進します。	ワーク・ライフ・バランスに資する取組の推進	ゆう活(夏の朝型勤務)取得者30名以上	ゆう活取得者 25名	一定のニーズがあり、職員のワーク・ライフ・バランスの意識向上に貢献しました。	0	B	総務課



## 富里市男女共同参画計画第2次改訂版 進捗状況調査票(令和3年度分)

## 基本方針(5)だれもが安心して暮らせる社会をつくる

達成度 A:十分に達成できた(90%以上) B:概ね達成できた(70%以上) C:一定の達成があった(50%以上) D:不十分であった(50%未満) E:その他(未実施、終了または廃止等)

No.	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	実績値	計画の進捗状況 (施策事業の実施状況、改善点等)	事業費 (単位:円)	達成度	所管課
70	多様な保育サービスの充実	仕事と子育ての両立を支援し、安心して働くことができるよう、多様な保育サービスの充実を図るとともに、保育所との連携を図り、待機児童の解消に努めます。	保育所待機児童の解消	0人	12人	弾力的な児童の受け入れを実施しましたが、待機児童の解消には至りませんでした。仕事と子育ての両立を支援するため、各幼稚園で預かり保育を実施しました。(年間利用者延べ1,411名)。引き続き、保護者が安心して働くことができるよう、多様な保育サービスの充実に努めます。	0	B	子育て支援課
71	ファミリーサポートセンターの充実	地域で支援する子育て体制として、ファミリーサポートセンターの充実を図り、地域による相互扶助により多様な保育サービスの提供の充実を図ります。	ファミリーサポートセンター会員数	100人以上	160人	子育て支援センター等様々な場所やボランティア団体等へPRを行い、提供会員として新たに8名入会しました。コーディネーターによる丁寧なマッチングを行い、利用会員の保育ニーズにきめ細やかに応えるよう努めました。	3,145,078	A	子育て支援課
72	病児・病後児保育の充実	保護者が就労している場合等において、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合の保育需要に対応する、病児・病後児保育事業の充実を図ります。	利用登録数	200人	114人	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数は減少していますが、コロナ禍においても開設を続け、病児保育のニーズに対応しました。	9,835,949	C	子育て支援課
73	放課後児童クラブの充実	放課後児童の健全育成を図るため、放課後学童クラブの運営の拡充に努めるとともに、保育需要を見極めながら、民間活力の活用を含め、新たな放課後学童クラブの設置について検討します。	放課後学童クラブ入所率(4/1時点)	77%以上	74%	富里小学校区に学童クラブを設置し、保育環境の充実をはかりました。また、令和4年度中に富里小学校区及び七栄小学校区に学童クラブを新設します。	30,045,174	B	子育て支援課
74	子育てに関する相談、指導及び情報提供の充実	子育て支援センターの充実を図り、子育て家庭に対して、相談・情報提供、子育ての仲間づくり及び関係機関との連絡調整など、総合的に子育てを支援します。	子育て支援センター利用者数	年間21,000人以上	11,948人	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、定員制・予約制で支援センターを開所しました。	27,825,808	C	子育て支援課
		保健センターの充実を図り、各種健診や各種教室を開催して子どもの健康や育児などの子育てを支援します。	育児相談の実施	年12回以上	年24回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染予防対策を徹底し実施しました。 【内訳:保健センター18回、北部コミュニティセンター6回】	223,745	A	健康推進課
		各幼稚園・小中学校の入園・入学児童の保護者を対象に子育て学習会を実施します。	子育て学習会の開催	全幼稚園・小・中学校で年1回以上	1回	コロナ禍のため対面での学習会はできず、講話資料を配布して啓発を行いました。親のニーズと対象児の発達段階に即した講話等を工夫していきます。	227,564	B	生涯学習課
75	地域で支援する子育て体制の整備	教育・福祉関係者、ボランティア、自治会、市民活動団体等、地域の連携・協力により、子どもの成長を見守り支援する取組を推進します。	子ども子育てコンシェルジュの訪問による連携団体数	年20団体以上	20団体以上	関係機関に訪問・連絡し、連携・協力を図りました。(市内保育施設等延べ20団体以上)	2,411,311	A	子育て支援課
		PTA活動での登下校の見守りの実施	全小・中学校で年1回以上	全小・中学校で年1回以上	学校支援ボランティアを活用し、地域全体で登下校の見守り活動を行いました。	—	A	学校教育課	
76	子育てに関する経済的支援の推進	貧困等の家庭環境により進学機会や学力・学習意欲に影響が及ばないよう、児童手当、子ども医療助成、児童扶養手当など、子育てに関する経済的支援や奨学金制度の情報提供を実施します。	各種支援制度の周知	年8回以上	年10回	中学校卒業まで(15歳到達後、最初の3月31日まで)の児童を養育している方へ、児童手当法に基づき児童手当を支給しました。0歳～中学3年生までの子どもに対し、保険が適用される医療費について、一部負担金のうち一部または全部を助成しました。	—	A	子育て支援課
		制度の周知	年1回以上	年1回以上	市内の全児童生徒の保護者に対して、経済的支援についての周知文書を配布し、市広報紙、ホームページ及び入学説明会等で制度の説明をしました。また、窓口でも周知文書を配布しました。	—	A	学校教育課	
77	小児救急医療体制の整備	医師会の協力を得て、夜間や休日の小児救急医療体制の維持に努めるとともに、情報提供を実施します。	広報活動による周知	年12回以上	年12回	毎月、市広報紙で情報提供を行いました。引き続き、関係機関等と連携し、休日夜間の医療体制の確保に継続して努めます。	成田市急病診 11,839,033 印旛市郡小児初期急 病診 2,447,000	A	健康推進課

## 富里市男女共同参画計画第2次改訂版 進捗状況調査票(令和3年度分)

## 基本方針(5)だれもが安心して暮らせる社会をつくる

達成度 A:十分に達成できた(90%以上) B:概ね達成できた(70%以上) C:一定の達成があった(50%以上) D:不十分であった(50%未満) E:その他(未実施、終了または廃止等)

No.	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	実績値	計画の進捗状況 (施策事業の実施状況、改善点等)	事業費 (単位:円)	達成度	所管課
78	両親学級・母親学級の充実や親子のふれあい事業の推進	育児がより具体的にイメージできるような支援としての教室や、親子のふれあいを通じて積極的に育児に取り組めるよう支援するとともに、家庭教育学級の充実を図ります。	両親学級の実施	年3回以上	平日コース:年4回 休日コース:年4回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、広い会場で人数制限を設け、換気や消毒等の感染症対策を講じた上で実施しました。	89,772	A	健康推進課
			育児講座開催数	年10回以上	3回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、育児講座については毎月の開催が困難な状況であったが、個別相談等で利用者の育児不安の解消に努めました。	27,825,808	D	子育て支援課
			子育てに関する家庭教育学級開催回数	各家庭教育学級で年1回以上	0~3回	コロナ禍のため親子での体験活動は1学級、学習会は4学級で実施できませんでした。親子での体験活動や子育てに活かせる学習を工夫していきます。	227,546	B	生涯学習課
			ブックスタート・親子おはなし会・おはなし会	年12回以上・年10回以上・年55回以上	ブックスタート12回開催 親子おはなし会9回開催 おはなし会22回開催	毎月行われる乳児健診(4~5か月児)時にブックスタート事業を実施し、247名参加しました。親子おはなし会には69名が参加しました。おはなし会は、職員数の減と新型コロナウイルス感染症の影響で開催回数は減りましたが、156名が参加しました。読み聞かせを通じた親子の触れ合いの支援や事業の周知に努め、引き続き事業を継続して、育児をサポートしていきます。	-	B	図書館
79	育児相談、栄養指導など母子保健の充実	乳幼児の健やかな発育・発達のサポート及び育児不安の解消を図るための相談・指導の充実に努めます。	育児相談の実施	年12回以上	年24回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染予防対策を徹底し実施しました。 【内訳:保健センター18回、北部コミュニティーセンター6回】	223,745	A	健康推進課
80	各種検診事業の充実	健康維持と病気予防のため検診に対する理解を深め、年代や性差などに応じた受診しやすい体制の整備に努めます。	各種検診の実施	受診率50%	17.20%	新型コロナウイルス感染症対策を講じて、特定健康診査・各種がん検診(胃・肺・前立腺)・乳がん子宮頸がん検診を実施しました。個別検診については、大腸がん検診は市内委託医療機関で14医療機関、乳がん子宮頸がん検診は市内・外の医療機関実施しました。	48,984,000	D	健康推進課
82	健康教室などの開催による健康づくりの推進	年代や性差などに応じた健康教室や健康を推進する事業を実施します。また、食に関する知識や食を選択する能力を育成するため、男性の料理教室への参加促進に努めます。	健康教室の開催	年1コース以上	セミナー:年4回 男性のための料理教室:年1回	生活習慣病予防のためのセミナー、男性のための料理教室を開催しました。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、医師による講演会は中止しました。	-	A	健康推進課
81	健診や人間ドック等に関する情報提供及び受診しやすい体制の整備	特定健診や後期高齢者健康診査及び人間ドック等助成事業の充実に努め、情報の周知に努めます。	広報・啓発活動	年8回	年9回	令和3年度実績として、健診及び人間ドック助成に関する周知を年9回実施しました。【内訳は、市HPへの掲載、対象者への個別通知(勧奨通知含む)4回、行政パートナー回覧1回、広報3回】今後も引き続き積極的な情報提供を行い、受診体制の強化整備を図ります。	4,697,000	A	国保年金課
83	子どもへの食育の推進	子どもの頃から食に関する正しい知識を習得し、食を選択する能力の向上を図る等、生涯を通じて心身ともに元気で豊かに暮らすために、食育の推進を図ります。	栄養士による全小・中学校での指導	全小・中学校で年1回以上	新型コロナウイルス感染症の影響により未実施の学校あり	市内の小中学校において、栄養教諭や技師による食育の出前授業を計画的に実施しました。また、年明けには「学校給食週間」を設定し、食育の推進を図る取組を行いました。	-	B	学校教育課
			2歳児歯科健診の実施	年6回以上	年12回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、隔月を毎月の実施へ変更し、受付時間を区切り、換気や消毒等の感染対策を講じたうえで、栄養相談を実施しました。	588,983	A	健康推進課
			イベント等での啓発	年1回以上	1回	コロナ禍のため、食育月間(6月)中に、市広報紙による食育月間の周知を行い、食育の推進を図りました。	-	B	農政課
84	心身の健康相談の充実	年代や性差などに応じた健康相談や、専門の医師によるこころの相談を実施するとともに、自殺対策に関する啓発を実施します。	健康相談の実施	年10回以上	定例健康相談9回 結果説明会5回	健康相談は9回、結果説明会は5回実施しました。参加者が自分自身の健康の保持・増進に努めることができるよう、生活習慣の助言と支援を行いました。	健康相談 191,365	A	健康推進課
			こころの相談	年6回以上	年6回	精神科医による個別相談を実施しました。	-	A	社会福祉課

## 富里市男女共同参画計画第2次改訂版 進捗状況調査票(令和3年度分)

## 基本方針(5)だれもが安心して暮らせる社会をつくる

達成度 A:十分に達成できた(90%以上) B:概ね達成できた(70%以上) C:一定の達成があった(50%以上) D:不十分であった(50%未満) E:その他(未実施、終了または廃止等)

No.	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	実績値	計画の進捗状況 (施策事業の実施状況、改善点等)	事業費 (単位:円)	達成度	所管課
85	妊娠、出産等に関わる学習機会の充実	妊娠、出産、育児についての知識を学び、不安の解消を図るため、母親学級及び両親学級(プレ・パパママ教室)を実施します。	母親学級・両親学級の実施	母親学級年4回以上・ 両親学級年3回以上	平日コース:年4回 休日コース:年4回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、広い会場で人数制限を設け、換気や消毒等の感染症対策を講じた上で実施しました。	89,772	A	健康推進課
86	各種スポーツ教室等の充実	スポーツを通じて心と体の健康づくり、親子でのふれあいを促進するため、スポーツ健康フェスタの開催及び体育協会(スポーツ協会)と連携して各種スポーツ教室や大会の開催を推進します。	スポーツ健康フェスタの開催	年1回以上	未実施	スポーツ健康フェスタについては、屋外での健康ウォーキング・綱引き大会の開催を検討していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としました。	0	E	生涯学習課
87	高齢者の社会参加の促進	高齢者が身近な地域で安心して働ける多様な就業機会を提供するシルバー人材センターを支援します。また、高齢者が孤立せず、仲間づくりや地域との交流が図れる場として、シルバークラブ活動への支援及び地区社会福祉協議会の区域を単位とした地域主導による敬老会の開催について支援します。	シルバー人材センター事業への支援	シルバー人材センター事業補助金による財政援助	1回	高齢者の雇用機会を増進し「自主・自立」を図るシルバー人材センターの運営を支援するため、富里市シルバー人材センター事業費補助金8,239,000円の財政支援を行いました。	8,239,000	A	商工観光課
			地区社会福祉協議会の区域を単位とした地域主導による敬老会の開催	地区社会福祉協議会の区域での開催	年0回	新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、実施はありませんでした。	3,399,413	E	高齢者福祉課
88	高齢者の在宅保健福祉サービスの充実	訪問歯科診療など、在宅保健福祉サービスの充実を図ります。	広報活動による事業の周知	年1回以上	2回	寝たきり等で通院による歯科診療が困難な方を対象に希望申込みにて診療を行いました。	320,000	A	健康推進課
			移送サービス年間利用回数(延べ)	600回	889回	在宅の要介護・要支援状態にある高齢者等で、自力では公共交通機関等の利用が困難な方に対し、外出支援サービスを行いました。今後も利用に向けた周知に努めます。	3,681,786	A	高齢者福祉課
89	ひとり暮らし高齢者等に対する地域での見守り支援の推進	多様な地域団体や市民による地域コミュニティが主体となり、共に支え合う地域福祉ネットワークの構築に努めます。	SOSネットワーク事業者数	SOS 195以上 見守り事業者数 55以上	SOS 176	SOSネットワーク事業として、徘徊してしまう高齢者等の早期発見、保護に努めました。(発生件数35件)また、高齢者見守り協力事業者ネットワーク事業として、高齢者世帯における認知症やDV・虐待等の異変の早期発見に努めました。	125,000	B	高齢者福祉課
			高齢者見守り協力事業者数		見守り 70				
90	ひとり暮らし高齢者の実態把握・支援	訪問調査等により、ひとり暮らし高齢者の生活実態の把握に努め、生きがいデイサービス事業、緊急通報装置設置事業など、それぞれの状況に応じて必要となる各種サービスに適切に結びつけていきます。	—	—	情報提供人数307人	75歳ひとり暮らしの方と80歳以上の2人世帯の方を対象に、民生委員・児童委員による訪問調査を行い、生活に不安のある方等の情報を各地域包括に提供しました。	—	—	高齢者福祉課
91	高齢者の健康づくりの推進	健康教育や地域団体と連携・協力して健康ウォーキング事業等の実施及び介護予防教室等の実施や地域における介護予防活動等の支援を行い、高齢者の健康づくりを推進します。	健康ウォーキング事業等の実施	年1回以上	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、にんじんウォークの開催は見合わせました。	—	E	健康推進課
			介護予防教室の開催	年72回以上	412回	【筋力アップトレーニング施設開放事業】高齢者の介護予防への主体的な取り組みを促すため施設の開放とマシンの利用提供を行いました。(事業実績/70回開催 参加者延べ962人) 【とみさと健康ちょきん体操】地域で自主グループとして活動していけるよう、地域包括支援センターが支援を行いました。(事業実績/342回 参加者延べ2,513人)	700,000	A	高齢者福祉課
92	高齢者の相談体制の充実	高齢者が地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括支援センターの機能を充実させるとともに、関係機関等と連携・協力して相談体制の充実を図ります。	相談件数	5,000件以上	8698件	委託型・基幹型地域包括支援センター及び認知症初期集中支援チームに、高齢者や高齢者を支える家族や地域住民・関係者等からの様々な相談に対応しました。 地域包括支援センター相談件数8084件 認知症初期集中支援チーム相談件数614件	89,373,889	A	高齢者福祉課
93	高齢者が自立した日常生活を支援するための学習機会の提供	高齢者が自立して生活できるためのスキルを習得できるよう、創年セミナーの講座内容の充実や、高齢者も参加できる男性のための料理教室への参加促進に努めます。	創年セミナーの開催	年16回以上	8回	市内在住の20歳以上の方を対象に、医療講座、金融講座等を8回開催しました。(コロナの影響で、1回中止となりました。)受講生の多くが毎年受講しており、新規受講者を増やすことが課題となっています。(参加者延べ人数:88人)	26,950	C	生涯学習課
			男性向けの料理教室の開催	年1コース以上	1回	地区保健推進員協議会主催で、男性のための料理教室を開催しました。	—	A	健康推進課

## 富里市男女共同参画計画第2次改訂版 進捗状況調査票(令和3年度分)

## 基本方針(5)だれもが安心して暮らせる社会をつくる

達成度 A:十分に達成できた(90%以上) B:概ね達成できた(70%以上) C:一定の達成があった(50%以上) D:不十分であった(50%未満) E:その他(未実施、終了または廃止等)

No.	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	実績値	計画の進捗状況 (施策事業の実施状況、改善点等)	事業費 (単位:円)	達成度	所管課
94	障害者(障害児)福祉の充実	相談体制の充実を図り、関係機関等との連携により、障害者(障害児)及びその家族に対する適切な支援につなげていきます。	地域自立支援協議会の開催	年3回以上	年3回	自立支援協議会を開催し、現行及び令和4年度以降の相談体制の充実を協議しました。また、障害者差別防止について事例検討を行いました。	—	A	社会福祉課
95	ひとり親家庭への経済的支援と自立促進	所得に応じて児童扶養手当や医療費等助成の経済的支援を行うとともに、自立を促進するため、母子家庭自立支援給付金事業や公共職業安定所(ハローワーク)と連携した就労支援を実施します。	各種支援事業の周知	年8回以上	年12回	ひとり親家庭の対象者に、児童扶養手当の支給や医療費の助成などの経済的支援を実施しました。また、資格取得のため1年以上就学するひとり親家庭の父、母に対し、高等職業訓練促進給付金等を支給しました。市広報紙やホームページなどで各種支援事業の周知を図りました。	—	A	子育て支援課
96	国際理解教育の推進	学校教育において国際理解に関する意識の向上を推進します。	英語教室関連行事の実施	年3回	新型コロナウイルス感染症の影響により年2回	英語学習を中心に様々な国の文化や行事に触れる機会を設け、国際理解に関する意識の向上に努めました。小・中学校ともに内容を工夫して「英会話の日」を実施し、外国語や多文化への理解を深めました。	—	B	学校教育課
97	国際交流事業の推進	市民と外国人が交流できる機会や場を提供している各種団体と連携・協力し、地域に根ざした国際交流の推進に努め、これを通じて男女共同参画に関する国際的な視点を養っていきます。	外国人支援窓口への相談者数	80人	16人	国際交流事業を実施する富里国際交流協会に対し、事業経費について補助金を交付しました。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業実施にとどまりました。	134,104	B	市民活動推進課
			国際交流関係団体との連携協力	年1回以上	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施しませんでした。	—	E	学校教育課
98	外国人相談業務・行政サービスの充実	外国人が地域で安心して暮らしていけるよう、日常生活に関する相談業務や多言語化したホームページなどにより情報提供の充実を図ります。	外国人支援窓口への相談者数	80人	16人	毎週月・金曜日の午前9時から正午まで、在住外国人等を対象として日常生活に関する情報や相談に応じる外国人支援窓口を開設し、多種多様な相談に対し、適切な情報提供と関係機関への案内を実施しました。	748,051	B	市民活動推進課
99	日本語習得の支援	各種ボランティア団体等と連携・協力し、日本語を学べる場の提供に努めます。	日本語教室受講者数	50人	延べ25人	富里国際交流協会により教室を運営、市は会場の確保をするなど、連携・協働を図り、日本語教室を開催し、在住外国人等に対する日本語学習の機会を提供しました。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の教室で4か月の実施となりました。	※No.97に含まれる	A	市民活動推進課
100	外国人児童・生徒への支援	日本語が不自由な児童・生徒に対し、ボランティア団体などの市民活動団体の協力等を得て、学校教育現場における日本語指導の推進を図ります。	—	—	—	各校の日本語指導が必要な児童生徒の状況把握に努め、学校ボランティアと連携をし、日本語指導の支援を実施しました。	—	A	学校教育課
101	外国人が利用しやすい図書館の充実	外国人が利用できる図書の充実と情報提供に努めます。	外国語書籍の蔵書数	1,400冊以上	洋書冊数 1,406冊	R3年度は7冊受け入れをしました。除籍等により資料の鮮度を図り、外国人の利用促進に努めました。	—	A	図書館